

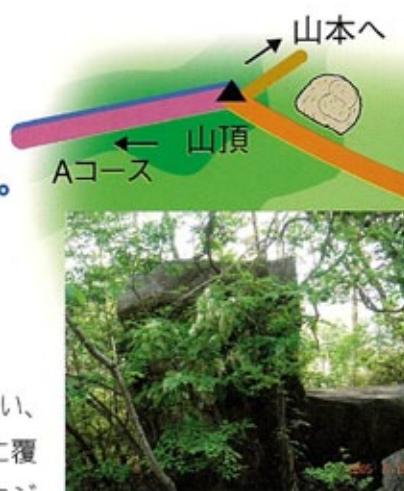
Bコース

1100
m

美しい景色を見ながら登るコースです。
途中から急になります。

三瀧寺の門に入った所にある石の標識に従い、トイレと建物の間を抜けると、谷あいの樹木に覆われた山道に入る。スミレの仲間やアキチョウジなど足元の花も楽しめる道である(P17)。やがて、小さな流れを渡るが、雨の後は道が川のようになっているので注意しよう。平らな岩の横を通り、ササ、ヤブツバキの林を抜けてひたすら登ると、やがてジグザグ道になる。このあたりは、丈の高いササの中に蜂が巣をつくっていることがあるので、静かに通り抜けよう。一汗かいた頃、風の吹き抜ける気持ちの良い峰にたどり着く。早春にはみごとな山桜が楽しめる。右は四等三角点のある大原山への道(急登10分)。頂上へは左に進み、小さなピークを越えて鉄塔のある広場にでる。ここから双子岩がはっきりと見える。広場の先は十字路で右側は長束への下り口だが、左側の道は行き止まりになっている。稜線にでると、阿武山や白木山等の北方面の展望が開け、振り返ると、谷の向こうに市街地が望まれる。さらにひと登りすると双子岩だ。谷からの風に吹かれて一休みしよう。双子岩からは明るい林の中のゆるやかな尾根道がしばらく続く。かつて松根油を採取した松(P6)のある辺りから登りがきつくなり始め、さらに岩の多い急な傾斜へと続く。このコース一番の難所である。登りきった先に、エンペラーの椅子と呼ばれる岩がある。春にはハリエンジュの白い花で、秋にはカマツカの紅葉で縁取りされる。頂上まではあとちょっと。椿林の中の急な坂を登りつめ、大きな丸い岩を過ぎると最後のひとがんばりで目の前が開ける。

登山口～大原山分岐	15分
大原山分岐～双子岩	10分
双子岩～山頂	25分



少年自然の家コース 2280m

植物観察やバードウォッチングに最適なコースです。



A



展望台からの見晴らし



テーブル岩付近からの大茶臼



管理棟



A



スタート

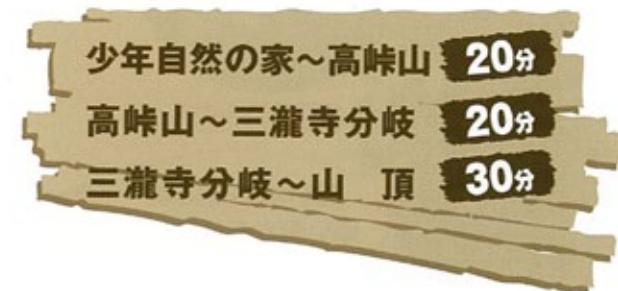


少年自然の家の玄関前を左手に進み、冒険橋のたもとにである。アスレチック用の丸太のつり橋だが、かたわらにしっかりしたコンクリートの橋があるので好きなほうを渡ろう。アスレチック広場はどの

道をとっても、やがて舗装した道に出る。炊飯場の横を抜けると三角屋根の管理棟があり、トイレの横に高峰山方面を示す標識がある。ここから山道に入ると、約5分の登りで展望台に着く。阿武山から宮島までぐるっと見渡せるが、ベンチにかけて眺める瀬戸内海は額縁の中の絵のようで、晴れた日には音戸や周防大島(屋代島)まで見通せる。反射板を過ぎ、いったんゲートまで下って、登り返した所が三等三角点のある高峰山の頂上だ。大迫団地方面に数メートル下ると展望の良い場所があるので、余裕があれば寄り道するといい。高峰山から三瀧寺への分岐までは、落ち葉を踏みしめて歩く尾根道である。正面に大茶臼が見えると、すぐテーブル岩だ。木にかけられた名札を見ながら歩いてみよう。やがて鉄塔のある広場に着く。ここからは大茶臼と畠峰さらに丸山に続く稜線が見える。この先は急な下りとなり、次に少々きつい登り、もう一度下って再び登りきった所に2つ目の鉄塔がある。鉄塔から鉄塔まで約10分の行程である。右手に道があるが、先が藪になっているので踏み込まないように。(特にこのコースを下ってきた時に迷い易い)。鉄塔広場を過ぎた所で大迫への道が左に分かれるが、真っ直ぐ進むとすぐ三瀧寺から来るAコースと合流する。

(少年自然の家の所内地図はP19、Aコースとの合流点からはP9を参照)

少年自然の家～高峰山	20分
高峰山～三瀧寺分岐	20分
三瀧寺分岐～山頂	30分



樹木ウォッチング

Aコース(鉄塔~高峰山分岐)

なだらかな気持ちのよい道です。

さわって、おってゆっくり楽しんで歩いてください。
まだ他にもあるかもしれません。探してみてください。



ハリエンジュ
2005.05.12
別名/ニセアカシア



2006.03.26



スノキ 2005.05.14



ナツハゼ 2005.05.04



私の幹周り
165cm

ウリハダカエデ



ソルグミ 2005.10.23

カクレミノ

シロダモ
シャシャンボ
スノキ
スギ
ソヨゴ
タカノツメ
タブノキ
タラノキ
ツルグミ
ティカカズラ
ナナミノキ
ナワシログミ
ネジキ

ネズ
ネズミモチ
ノイバラ
ハリエンジュ
ヒサカキ
ホオノキ
ミツバアケビ
ミヤマウグイスカグラ
ムベ
ヤブニッケ
ヤマザクラ
ヤマハギ
リョウブ



コシダ
2006.10.13



2006.04.29

せんもう
花にも実にも腺毛があります。
よくみてみましょう。



これはコシダで
作ったカゴです。
お土産や生活雑貨
として作られていました。

樹木ウォッチング

Bコース(登山口～大原山分岐)

頂上まで登らなくても、いっぱい楽しめます。
日に日に変わって成長する植物たち。
名前を覚えて観察してみませんか？



アオキ
アオハダ
アカシテ
アカマツ
アカメガシワ
アセビ
アラカシ
イヌツゲ
イヌマキ
イヌザンショウ

イヌビワ
イロハモミジ
イワガラミ
ウツギ
ウリカエデ
エゴノキ
カキノキ
カクレミノ
カナメモチ
カナクギノキ

カマツカ
クサギ
クスノキ
クリ
クロキ
クロバイ
クロモジ
コアジサイ
コウヤボウキ
コガクウツギ

コシアブラ
コナラ
コバノガマズミ
コバノミツバツツジ
コマユミ
ゴンズイ
サカキ
サネカズラ
サルトリイバラ
シロダモ

ヒサカキ 2005.04.02



アオキ 2006.04.01



ツルアリドオシ

2005.12.03



マルバアオダモ 2005.04.28



スギ
スノキ
ソヨゴ
タカノツメ
タブノキ
ティカカズラ
ツタ
ツルアリドオシ
ナガバノモミジイチゴ
ナナミノキ
ナワシログミ
ナンテン
ネジキ
ネズミモチ
ノイバラ

ノブドウ
ハゼノキ
ヒイラギナンテン
ヒサカキ
ヒノキ
ビワ
フユイチゴ
マルバアオダモ
ミツバアケビ
ミヤマウグイスカグラ
ミヤマガマズミ
ムベ
ムラサキシキブ
モモ
モミ

ヤツデ
ヤブコウジ
ヤブツバキ
ヤブニッケイ
ヤブムラサキ
ヤマウルシ
ヤマコウバシ
ヤマザクラ
ヤマツツジ
ヤマフジ
ユズ
リョウブ
リンボク



ミヤマガマズミ
2005.04.28



エゴノキの虫こぶ 2010.07.24



ヤブツバキ 2006.03.26

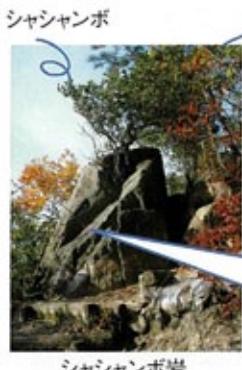
樹木ウォッチング 少年自然の家

整備された道、ゆっくり観察しましょう。



イソノキ 2006.07.07

高峰山へ
ゲート



最近はイソノキが
同居しています。



シナアブラギリ 2006.05.05



シナアブラギリ(実は毒) 2005.11.21



アオハダ 2006.08.17

反射板

展望台

青空広場

管理棟

イヌビワ

ツルウメモドキ

アカシテ

アカマツ

ムベ

ナツツバキ

アカシテ

ハゼノキ

ニシキギ

ヒメヤシャブシ

ヤマボウシ

リンボク

クサギ

アセビ

ナツグミ

アカマツ

モッコク

ネジキ

タカノツメ

ウリハダカエデ

オオバヤシャブシ

モッコク

クロバイ

カラスザンショウ

クスノキ

エゴノキ

カナクギノキ

タブノキ

リンボク

ゴンズイ

アオハダ

カラスザンショウ

シナアブラギリ

セナダン

トサミスキ

ナンキンハゼ

ハリエンジュ

マンサク

ロウバイ

シラカシ

アオハダ

クロキ

クロバイ

スギ

アラカシ

コナラ

アラカシ

コナラ

クロキ

ウバメガシ

ケヤキ

シナアブラギリ

エゴノキ

カクレミノ

クマノミスキ

クロキ

シナアブラギリ

ビナンカズラ

アオハダ

リョウブ

ムクノキ

トチノキ

クロキ

ヤマモモ

カクレミノ

ナミノキ

アカマツ

トウネズミモチ

モッコク

ツブラシイ

希望橋から
ツルの仲間を
探してみましょう。

イワガラミ
キヅタ
サルトリイバラ
サンカクヅル
ツルウメモドキ
ヘクソカズラ
ミツバアケビ
ムベ
ヤブガラシ

コバノミツバツツジ

希望橋

カクレミノ

タマミズキ

リョウブ

三浦少年自然の家

友愛広場

体育館

冒険橋

P

三滝

竜王

アスレチック
広場

ミヤマガマズミと
コバノガマズミを
比べてみよう

- ヤマザクラ
- イロハモジ

樹木の四季

植物を見る、触れる、聞く、味わう、嗅ぐ…。
五感を研ぎ澄ますと、言葉以上に深く心を癒し、
潤いを与えてくれます。

春のたのしみ～花ざかり～



山桜

花見と言えばサクラ。
暦が一般的でなかった古代、サクラの花は農耕の目安とされました。
開花で田を耕し始めたのです。
サクラは山の神が里に帰ってくれた目印で、その神と共に過ごすのが
花見の起源とされています。

ヤマザクラ 2006.04.07



コガクツギ 2006.05.13



タムシバ 2005.04.09



コヅクバネウツギ 2005.05.08



サイフリボク 2005.04.17



アセビ 2005.04.02



クロモジ 2005.04.02

クロモジ

すがすがしい香りのする木です。枝は和菓子に添える高級な楊枝に使われます。